



Weekly Report



ロータリーは分かちあいの心

佐世保北ロータリークラブ 2007～2008年度 RI 会長 / Wilfrid J. Wilkinson 地区ガバナー / 野口 清

会長/野畑義博 幹事/湯口純二 例会場/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店8F カトレアホール (毎週月曜日)
 創立/1984. 4. 16 認証/1984. 5. 14 事務局/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店内 TEL 0956-22-7144 FAX 0956-22-1201
 E-mail office@sasebonorth.org Web http://www.sasebonorth.org

【本日】会員数48名 出席 30名 欠 席 6名 出席免除会員出席 9名 ビジター 1名 出席率 86.67%
 【前々回】会員数48名 出席 33名 メークアップ 3名 出席規定除外 12名 修正出席率 100.00%

《会長挨拶》

野畑義博 会長



本日、社会奉仕委員会主催の聴導犬のデモンストレーションが大宮幼稚園と日野幼稚園でありました。宮崎委員長の人徳で20名の会員が参加され大いに賑わいました。

また、中山クラブ奉仕委員長、大鳥居広報委員長のお世話で取材も4社来しました。KTNとTV佐世保、そして西日本新聞と長崎新聞で今日、明日には何らかの報道があるでしょう。また、11月9日の村上会員の秩父宮表彰の折には会員が20数名、ご夫人も10数名参加されこれも大いに賑わいました。

以上、2つの行事でわかるように北ロータリークラブのメンバーは何かあったら力強く協力するという先輩方のつくってこられた伝統を今でも立派に受け継いでいるのだと感じたしだいです。それを次の若い方々に引き継いでいきたいと思ひます。皆様のご協力お願いいたします。

.....

《幹事報告》湯口純二 幹事

1. 例会変更

・雲仙RC

11月24日(土)→12月25日(日) 12:30～

雲仙仁田峠 野外例会

(雲仙を美しくする会 クリーン作戦参加)のため

・佐世保東南RC

11月21日(水) 12:30→18:30～

さかな横丁(夜の例会)

2. 来 信

・国際ロータリー

公式名簿の2008～2009年度版に記載するロータリークラブの役員名報告書式

・地区大会事務局

本大会についてのご確認事項

・島原南RC

メールアドレス変更について

旧) k-arima@shokokai-nagasaki.or.jp

新) k-nagato@shokokai-nagasaki.or.jp

3. 依頼伝達

①本日例会終了後に例会場にて指名委員会を開催いたします。

②11/17～11/18は地区大会です。

11月17日(土)は地区大会「本会議第1日目」

13:30～17:30、18日(日)「本会議第2日目」

9:00～10:30となっておりますのでご出席の方はよろしくお願い致します。名札は事務局 窪田が持参いたします。

《委員会報告》

榎 護IM実行委員長

IM(インターシティミーティング)へのこれ迄の進捗状況と、組織に就いて、ご報告致します。テーマは「これからのロータリー活動を語ろう」です。

会員各位の絶大な御協力で立派な大会にしましょう。

宮崎有恒社会奉仕委員長

本日、11月12日(月)に大宮幼稚園、日野幼稚園におきまして、聴導犬デモンストレーションを開催しました。大宮幼稚園では、佐世保高専ボランティア学生10名、会員18名の参加。報道関係では、KTN、TVS佐世保、長崎新聞社、西日本新聞社の各社から取材が有りました。それと、当クラブから聴導犬育成協会への贈呈式(パン

フレット、幟旗、スタッフジャンパー、ポロシャツの寄贈)を行いました。

〈第3回北斗会開催の御案内〉 深堀昌二郎北斗会会計
日 時:12月1日(土) スタート 午後12時30分～
場 所:佐世保カントリー倶楽部(石盛コース)
当日会費:2,000円

《会員卓話》

「日本の冒険家たち」植村直己冒険賞とは
宮崎有恒会員



「植村直己冒険賞」は、植村直己さんの優れた人となりを後世に継承するために設けたもので、自然を相手に創造的な勇気ある行動をした人または団体に贈っています。

関野吉晴氏(1949年生まれ) 東京都調布市在住
■冒険名 「人類の旅5万キロをたどるグレートジャーニーの冒険」

■冒険内容 人類は、400万年前、東アフリカに誕生したとされている。百数十万年前、アフリカを飛び出し、アジアに広がった。やがて極北の地を経て、ついには南米大陸の最南端パタゴニアに達するに至った。関野さんは南米大陸最南端パタゴニアを出発点として、アメリカ大陸を北上し、ベーリング海峡を横断し、ユーラシア大陸を横切り、人類誕生の地である東アフリカまで、5万キロ以上あるこの大遠征を逆ルートに、土地の先住民と接しながら、自らの脚力と腕力だけでたどる旅を続けている。1999年10月4日には、シベリアからモンゴルの首都ウランバートルに到達した。グレートジャーニーと称するこの壮大な冒険は、21世紀にかけて続行され、このあとヒマラヤを越えてインドを経由して西に進路をとり、アフリカへ渡ってゴールを目指す。

大場満郎氏(1953年生まれ) 山形県最上郡最上町在住
■冒険名 「史上初の北極海単独横断と南極大陸約4,000キロの単独横断」

■冒険内容 たった一人で歩いて北極海の横断を目指し、1997年2月ロシア・コムソモレツ島のアーチチェスキー岬から出発し、5月3日には北極点を通過し、同年6月24日、1,730キロ離れた最終目的地のカナダ・ワードハント島に到達した。大場さんは、1994年から毎年、北極海の単独徒歩横断に挑戦し続け、今回が4回目。特に1995年には凍傷のため、両足の指全部と手の指の一部を失った。さらに、大場さんは、「もっと地球を肌で感じたい」と夢が膨らみ、南極大陸単独横断に挑んだ。史上初めて両極の大陸と海洋単独横断を目指し、南極横断に挑戦していた冒険家大場満郎さんは、1999年2月15日、99日間に及ぶ3,824キロの単独横断に成功した。

永瀬忠志氏(1956年生まれ) 大阪市東住吉区在住

■冒険名 「リヤカーを引き世界各地を徒歩踏破4万3千キロ」

■冒険内容 1975年から30年かけリヤカーを引き、世界各地を徒歩踏破。合計距離は4万107キロになり、地球赤道距離に相当する距離となった。2005年は、再度リヤカー(田吾作ジュニア3号)を引き、1975年に行った日本縦断と同じルートで、当時お世話になった方へのお礼を兼ねて、北海道から鹿児島まで3000キロを79日かけて徒歩踏破した。

《ハイライトよねやま》

寄付金速報 — 米山月間の結果は? —

10月までの寄付金は、前年同期に比べて3.3%減、約1千8百万円の減少でしたが、先月(4.6%減)に比べて減少幅が小さくなりました。普通寄付金が2.7%減、特別寄付金が3.8%減です。

10月の米山月間には、当財団設立40周年を記念して100万円を寄付していただいたクラブもあり、今月の寄付累計額5億3千万円は、2003年度以降5カ年の間で2番目に高い金額となっています。上期の残り2カ月も引き続きご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

2008学年度の米山奨学金申込状況

2008学年度の米山奨学金(学部・修士・博士課程奨学金、地区奨励奨学金)には、全国344校から1,378名の応募がありました。

申込者を国・地域別にみると、中国が58.3%(前年度比▲2.1%)、韓国11.7%(▲2.1%)、台湾6.0%(▲0.7%)、その他23.9%(+4.8%)で、「その他」国籍出身者の申込み割合が増加しています。課程別では、博士課程が30.9%(▲0.7%)、修士課程57.1%(+0.5%)、学部課程11.0%(±0.0%)となりました。指定校になったにもかかわらず、推薦者0名の指定校が毎年発生します。今年は64校(前年度68校)でした。事前の情報収集など、留学生在籍状況の確認をお願いいたします。

なお、「クラブ支援奨学金」には8地区13クラブから、「地区奨励奨学金」は6地区9校の指定校に対し、5校から14名の応募がありました。

これから11月下旬～1月下旬にかけて、地区選考委員会による書類選考・面接試験が実施され、2月中旬には新規採用者595名(2007年11月現在)が決定します。

台湾学友会が中越沖地震へ義援金

7月に発生した新潟県中越沖地震は、台湾でも大きく報道されました。そのニュースを受け、台湾の米山学友会が立ち上がりました。

(社)中華民国扶輪米山会(台湾米山学友会)の阮允恭(ゲンインキョウ)理事長(1971-74/神戸大学大学院/神戸RC)は、9月の理事会で中越沖地震への義援金送付を提案し、全会一致で承認。呼びかけを始めると多くの学友から手があがり1週間で目標額30万円に達しました。

阮理事長は「地震の怖さ、復興までの道のりの長さと

